



そうさ 匠瑳里地里山保全会（千葉県匠瑳市）

- 匠瑳市の市街地近傍にあり、豊かな自然環境の中で1,300年前より受け継がれた谷津田が多く残る地域です。
- 里山に生息するヘイケボタルやトウキョウサンショウウオの保全に取組、自然観察会を実施し、地域外の住民との交流を行っている。
- 小学校と連携した農業体験に取り組むなど子供達への農業教育にも積極的に取り組んでいる。

【地区の概要】

- ・取組面積: 144.0ha
(田144.0ha)
- ・資源量: 開水路 111.5km
農道 44.9km
- ・構成員: 農業者団体、自治会、NPO、
土地改良区等
- ・交付金: 約6.9百万円
農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 農業者の減少・高齢化が進み農村環境の維持・保全が懸念されていた。
- 千葉県内でトウキョウサンショウウオの分布調査を実施したところ当該地域で生息していることが判明。



トウキョウサンショウウオ

取組内容

- トウキョウサンショウウオの産卵場所として水田周囲の水辺や里山に依存していることが明らかになった。
- 周辺林の整備や産卵場所となる水田の山際に排水用に掘る溝の整備を実施。
- トウキョウサンショウウオやホタルの観察会を実施している。



土溝掘り



トウキョウサンショウウオの産卵場所となっている土溝

取組の効果

- 保全活動の結果、トウキョウサンショウウオは継続的に繁殖が確認されており、地域外からも多くの人が観察会に参加し、地域外の住民との交流につながっている。
- 生態系保全をきっかけに水路や農地周りへの農薬散布が減少するとともに減農薬栽培の拡大につながっている。



自然観察会